

日本サウンドスケープ協会

第25回（2017年度）通常総会

日 時：2017年5月20日（土）13:00～14:00

会 場：岩手県公会堂・21号室

-----【議 案】-----

●第1号議案 2017年度－18年度理事の承認

2017年度－2018年度理事の承認 [資料1]

2017年度－2018年度監事の承認 [資料2]

●第2号議案 2016年度事業報告および決算

2016年度事業報告案 [資料3]

2016年度決算案 [資料4]

2016年度監査報告 [資料5]

●第3号議案 2017年度事業計画および予算

2017年度活動方針ならびに事業計画案 [資料6]

2017年度予算案 [資料7]

●第4号議案 規約および細則の改正

会長職の位置づけについて [資料8]

コンテンツ事業運営委員会の位置づけについて . . . [資料9]

JASE委員会の位置づけについて [資料10]

事務局所在地の変更 [資料11]

[資料1] 2017年度－2018年度理事の承認

2017年度－2018年度を任期とする理事選挙は、駒崎掲・選挙管理委員長のもと、理事選挙実施要領第4条に基づき、書面にて理事立候補者を募り26名の立候補者を得ました。立候補者数が規約（第9条）に記されている定員35名以下でしたので、要領第5条の規定により本理事選挙は信任投票となりました。なお、下記名簿中に※がついている方は、理事選挙実施要領第4条3項（定員に満たないときに常務理事会が理事候補者を推薦できる制度）により常務理事会が推薦した候補です。本選挙は4月28日を投票締切日とし実施されました。有効投票数は48通について5月8日に開票をおこなった結果、候補者全員が信任されました。本件は、総会での承認をもって任期がはじまります。

日本サウンドスケープ協会理事・当選者名簿

<input type="checkbox"/> 池村弘之※	<input type="checkbox"/> 今井 信	<input type="checkbox"/> 今田 匡彦	<input type="checkbox"/> 岩宮眞一郎※	<input type="checkbox"/> 上野 正章
<input type="checkbox"/> 兼古 勝史	<input type="checkbox"/> 川井 敬二	<input type="checkbox"/> 川崎 義博	<input type="checkbox"/> 神林 哲平◎	<input type="checkbox"/> 倉谷 英和◎
<input type="checkbox"/> 小菅 由加里	<input type="checkbox"/> 小林 田鶴子	<input type="checkbox"/> 小西 潤子	<input type="checkbox"/> 斎藤 馨	<input type="checkbox"/> 塩川 博義
<input type="checkbox"/> 鈴木 秀樹	<input type="checkbox"/> 曾和 治好◎	<input type="checkbox"/> 大門 信也◎	<input type="checkbox"/> 土田 義郎	<input type="checkbox"/> 鳥越 けい子
<input type="checkbox"/> 中川眞※	<input type="checkbox"/> 中間 和之	<input type="checkbox"/> 西村 篤	<input type="checkbox"/> 佐藤宏※	<input type="checkbox"/> 平野砂峰旅※
<input type="checkbox"/> 平松 幸三	<input type="checkbox"/> 船場 ひさお	<input type="checkbox"/> 箕浦 一哉	<input type="checkbox"/> 柳沢 英輔	<input type="checkbox"/> 鷺野 宏

凡例 氏名の後に※：常務理事会推薦 氏名の後に◎：初当選

[資料2] 2017年度－2018年度監事の承認

細則第3条4に基づき、理事会より監事候補が推薦されました。

2017年度－2018年度を任期とする監事は、総会での承認をもって任期がはじまります。

日本サウンドスケープ協会監事・理事会推薦

入江和朗 沖山文敏

[資料3] 2016年度事業報告案

1. 2016年度会員状況

総会員数 165名(175名)

10名減：入会7名、退会17名

内訳

一般会員 147名(155名)

8名減：入会4名、退会12名、学生会員から一般会員への変更0名

学生会員名 14名(15名)

1名減：入会3名、退会4名、学生会員から一般会員への変更0名

賛助会員 0団体(0団体)

団体会員 4団体(5団体)

※会員数は2016年度末日のもの ()内の会員数は2015年度末日のもの

2. 総会・シンポジウムの開催

・総会

日時：2016年5月28日(土) 16:00～17:30

会場：青山学院大学総合研究所(14号館)14509教室

参加者概数：60名(会員 30名, 一般 15名, 青学生 15名)

・シンポジウム 「東京水系のサウンドスケープ：都市と社会のリ・デザイン」

日時：2016年5月29日(日) 14:00～17:00

会場：青山学院アスタジオ地下ホール

○イントロダクション「名橋たちの音を聴く」鷺野宏(都市楽師プロジェクト主宰)

○基調講演「『世界の調律』再考：武蔵野三大湧水池から」鳥越けい子(青山学院大学教授)

○話題提供「東京水系の歴史と場所性」神谷博(水みちデザイナー／法政大学兼任講師)

○話題提供「東京の水辺街づくりー現在とこれからー」高見公雄(法政大学教授)

○司会：吉仲淳(作曲家／青山学院大学教育人間科学部准教授)

3. 例会の開催

下記の通り、3回実施した。

(1) 「絵画の音を聴く～美術とサウンドスケープの交点～」

日時：2016年7月31日(日)13:30-17:00

会場：東京都美術館

参加者数：会員8名 一般11名 計19名

ファシリテーター：

鈴木 秀樹（学芸大学附属小金井小学校 教諭）

神林 哲平（『きくことからの学び』著者／早稲田実業学校 初等部 教諭）

招待講演：高橋 憲人（弘前大学大学院 地域社会研究科 博士課程）

聞き手：川崎 義博（アーティスト／東京藝術大学 先端芸術表現科）

司会：今田 匡彦（『音さがしの本』著者／弘前大学 教授）

企画：サウンド・エデュケーション WG

(2) 「高尾山虫聞之会」

日時：2016年9月17日(土) 13:30-16:00

会場：多摩森林科学園

参加者数：会員11名 一般8名 計19名

講師：大谷英児（森林総合研究所・多摩森林科学園研究専門員）

講師：大庭照代（千葉県立中央博物館教育普及課主任上席研究員）

企画：自然のひびきを聴く会 WG

(3) 「祭り囃子の音風景～祭りが生み出すサウンドスケープ～」

日時：2016年11月13日(日) 10:20-17:30（会員向け）／13:00-15:45（一般公開）

会場：杉並区立郷土博物館ほか

参加者数：会員12名 一般12名 計24名

コメンテーター：かわさき義博、小西潤子、鳥越けい子、田村真美氏（杉並区立郷土博物館）

司会：中間和之

企画：祭りや伝統文化の音風景を考える会 WG／例会実行委員長 中間和之 実行委員 鳥越けい子

4. 研究発表会の開催

・春季研究発表会

日時：2016年5月29日(日) 10:00～13:00

会場：青山学院アスタジオ・多目的ホール

内容：一般報告4件

参加者：40名（会員 27名，一般 5名，青学生 8名）

共催：青山学院大学教育人間科学部 吉仲研究室、総合文化政策学部 鳥越研究室
実行委員会：箕浦一哉（委員長）、上野正章、吉仲淳

- ・秋季研究発表会
日時：2016年12月18日（日）9:25～12:45
会場：熊本大学・インキュベーションラボラトリー
内容：一般報告5件
参加者：16名（会員13名，非会員3名）
実行委員会：上野正章（委員長）、川井敬二、箕浦一哉
- ・秋季研究発表会・関連イベント：熊本城周辺サウンドウォーク
日時：2016年12月17日（土）17:00～18:30
参加者：12名

5. 共同研究プロジェクトの開催

研究会を4回開催した。

- ・第1回：2016年8月5日（金）13:00～18:00，関西大学にて，7名参加
- ・第2回：2016年10月2日（日）13:00～18:00，関西大学にて，8名参加
- ・第3回：2016年12月17日（土）13:00～16:00，熊本大学にて，6名参加
- ・第4回：2017年3月18日（土）13:00～18:00，熊本大学東京オフィスにて，16名参加

6. 研究会（ワーキング・グループ）活動・震災プロジェクトへの助成等

ワーキング・グループ（WG）およびプロジェクトに対し下記のとおり助成をおこなった。
助成申請のあったWGに対し活動経費のうち3万円程度を上限に助成をおこなうもの。
プロジェクトについては、5万円程度を上限に経費支給を継続している。

助成グループ名称	助成額	内容
震災プロジェクト	56,585円	交通費
サウンド・エデュケーションWG	2,320円	交通費
自然の響きを聴く会WG	8,995円	交通費
サウンドスケープ政策研究会WG	12,948円	通信費・発送作業への補助
まち・音・ひと・ねっとWG	30,469円	会場費・交通費ほか

7. 広報活動ならびに関連事業として

- ・協会ウェブサイトの運営
ワーキング・グループの定義・活動紹介および設立申請・助成申請書のフォーマットを掲載
- ・各種メーリングリストの運営
- ・フェースブックの運営（一般公開用・会員専用）

8. 協会誌の発行

- ・『サウンドスケープ』第17巻を発行した。

9. その他

- ・第1回常務理事会

日時：2016年10月07日（金）

会場：青山学院大学総合研究所ビル第10会議室および常務理事 ML

常務理事の出席：箕浦・小菅・鳥越 委任状：土田 欠席：船場・鈴木・柳沢 不成立のため ML も併用

常務理事以外の出席：入江・吉仲・鷺野

- ・第2回常務理事会

日時：2016年1月8日（日）17:00-19:00

会場：青山学院大学総合研究所ビル第12会議室

常務理事の出席：土田・柳沢・箕浦・鈴木・小菅・鳥越・船場

常務理事以外の出席：入江・吉仲・鷺野

- ・第3回常務理事会

日時：2016年3月15日（水）18:00-20:00

会場：青山学院大学総合研究所ビル第17会議室

出席：小菅・土田・鳥越・船場・箕浦・柳沢 欠席：鈴木

常務理事以外の出席：兼古・平松・入江・吉仲・鷺野

[資料4] 2016年度決算案 (自2016年4月1日 至2017年3月31日)

収入の部

(単位: 円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
会費収入	1,135,000	795,000	-340,000	
一般会員	1,020,000	708,000	-312,000	118名分×6,000円(一般会員年会費)
学生会員	45,000	27,000	-18,000	9名分×3,000円(学生会員年会費)
賛助会員	-	0	0	
団体会員	30,000	24,000	-6,000	4団体分×6,000円(団体会員年会費)
JASE委員会	40,000	36,000	-4,000	18名分×2,000円(JASE年会費)
会費前受け金	-	0	0	
事業収入	20,000	3,000	-17,000	
コンテンツ事業	-	0	0	
企画運営(例会)	-	0	0	
企画運営(シンポジウム)	-	0	0	
学術事業	6,000	3,000	-3,000	研究発表会資料代
協会誌編集	-	0	0	
JASE委員会	-	0	0	
活動推進	-	0	0	
ワーキンググループ	-	0	0	
企画運営	-	0	0	
雑収入	-	12,000	12,000	寄付(12,000円)、利子(XX円)
今年度収入合計	1,155,000	810,000	-345,000	
前年度繰越金	1,968,897	1,968,897	-	期首残高: 郵便口座1,865,970、銀行口座78,486、小口現金22,855、他1,586
収入合計	3,123,897	2,778,897	-345,000	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費	835,000	387,307	-447,693	
企画運営: シンポジウム	100,000	81,976	-18,024	講師謝礼(20,000×2名)、アルバイト終日(4,000円×4名)、講師・スタッフ昼食飲み物6,700円、シンポ フライヤー・看板代16,276円、情報交流会会場費3,000円(以上すべて小口より)
企画運営: 例会	120,000	146,781	26,781	(1) サウンドエデュケーションWG例会 46,157円(9月23日振込)、(2) 自然の響きを聴く会WG例会 12,700円(10月6日振込)、28,008円(3月31日振込) (3) 祭や伝統文化の首風景を考える会WG例会 59,916円(3月3日振込)
コンテンツ: 調査・編集	70,000	0	-70,000	
研究会: WG等への助成	140,000	111,317	-28,683	(1) 震災プロジェクト交通費 56,585円(2月23日振込)、(2) サウンドエデュケーション交通費 2,320円(3月31日振込)、(3) 自然の響きを聴く会 交通費 8,995円、(4) サウンドスケープ政策研究会 通信費および発送作業補助 12,948円(4月13日振込) (5) まち・音・ひと・ねっとWG 30,469円(3月31日振込)
協会誌編集	120,000	0	-120,000	
学術運営: 研究発表会	80,000	11,600	-68,400	12月研究発表会アルバイト代(3名) その他(2月13日振込)
学術運営: 研究推進	50,000	10,000	-40,000	外部研究者による投稿論文査読謝礼 10,000円(2月14日振込)
活動推進: 推進・広報	120,000	0	-120,000	
JASE委員会活動	35,000	25,633	-9,367	WFAE Affiliation Fee (2015) (振込手数料含む)
管理費	275,000	167,417	-107,583	
人件費	100,000	70,000	-30,000	(1) 文字起こし(シンポジウム)お礼35,000円(2月2日振込)、(2) 文字起こし(11月例会)お礼 35,000円(2月24日振込)
会議費	30,000	22,842	-7,158	総会 会場費(青山学院大学) 22,842円
通信連絡費	45,000	30,242	-14,758	お知らせ封筒送付14,350円(小口より)、返信用ハガキ 9,152円(小口より)、封筒5,300円(小口より)、宅配720円×2回(小口より)
ウェブサーバ費	30,000	26,999	-3,001	サーバーレンタル料・ドメイン更新26,999円
印刷費	30,000	7,676	-22,324	総会資料印刷・春季研究発表会資料印刷製本代 7,534円(小口より)、常務理事会資料印刷代142円(小口より)
雑費	40,000	9,658	-30,342	領収書ノート334円(小口より)、振込手数料9,324円: 国内9,000円(ゆうちょ)、324円(都市銀行: 小口より)、国際送金手数料 0円(WFAE年会費送金は年会費振込額に含む)
2015年度支出合計	1,110,000	554,724	-555,276	
次年度への繰越金額	2,013,897	2,224,173	210,276	期末残高: 郵便口座2,112,996、銀行口座78,486、小口現金31,105、その他1586
支出合計	3,123,897	2,778,897	-345,000	

[資料5] 監査意見

2016年度日本サウンドスケープ協会 監査意見書

2017年5月15日

日本サウンドスケープ協会
理事長 鳥越けい子 様

私たち日本サウンドスケープ協会監事2名（入江・沖山）は5月15日、協会事務局（青山学院大学教育人間科学部吉仲研究室）内にて事務局長との面談において本年度の決算書等の提出書類及び関連資料に基づき2016年度の協会活動について、その財務および活動状況を監査いたしました。また、会務等については常務理事会等に出席し、会議の内容等を把握すると共に、事業報告書を参考とし、事情聴取して監査を実施しました。

本協会は規則改正を伴った組織改変を行うとともに、協会活動の活性化を目的として理事長を中心とした活動推進委員会を2年前に設置いたしました。本年度協会活動は昨年より一層活発となっております。また事務局を中心とした協会運営は概ね適切であり、今回提出されている決算書は協会の収支状況を正しく示していることが確認されました。

協会収入の主な財源である会費については大幅な減少が認められるので、その原因等を分析しつつ、滞納者に対する対応を実行されることを望みます。そのなかで、特に学生会員の取り扱いについては、今後はこれらに対する詳細な規則（単年度申請や時限的取り扱い等）を制定し、より円滑な協会運営を求めます。

支出については、例会の開催やWG（ワーキンググループ）の活動がより活発になっていることは顕著であります。これは、本協会におけるWGおよびプロジェクトのあり方について再考した結果であると認められます。このような活動について協会員への周知する仕組みとして、シンポジウムや例会活動の内容を協会誌に掲載するようにしたこと等の工夫をしたことは評価します。一方、事務局作業に当たる人物には、次年度より会費から一定の謝金を支出できるようにしたこととも評価します。

今後は、常務理事会の案件である「25周年に向けての協会の在り方」等の重要案件について検討すること望みます。そして協会員の協会活動を保証するために、各事業運営委員会および理事会が本協会を牽引することを期待します。

以上

監事 入江和朗 

監事 沖山文敏 

[資料6] 2017年度活動方針ならびに事業計画案

1. 2017年度活動方針

- 1) 全協会員のための研究活動の促進と環境整備
- 2) 協会資源（人的／物的）の発掘と活用
- 3) 25周年事業の計画と準備
- 4) 協会活動の発信との運営基盤の強化

2. 総会・シンポジウムの開催

・総会（主担当：活動推進委員会）

日時：2017年5月20日（土）13:00-14:00

会場：岩手県公会堂 21号室

・シンポジウム（主担当：企画運営委員会）

タイトル「いわてのサウンドスケープ」

日時：2017年5月20日（土）15:00-17:30

会場：岩手県公会堂 21号室

○第1部 誰かに聴かせたい”いわての音風景”紹介

○第2部 講演：匠が語る いわてのサウンドスケープ

「南部鉄器とサウンドスケープ」田山貴紘氏（タヤマスタジオ株式会社代表取締役）

「ホームスパンの匠が感じるサウンドスケープ」舞良雅子氏（染織作家）

「南部杜氏が語る酒造りのサウンドスケープ」久慈浩介氏（株式会社南部美人 五代目蔵元代表取締役社長）

○第3部 パネルディスカッション

久慈浩介氏×舞良雅子氏×田山貴紘氏×木村直弘（岩手大学人文社会科学部教授）

コーディネーター：船場ひさお（岩手大学 COC 推進室特任准教授）

3. 例会の開催（主担当：企画運営委員会）

現状、2017年度の例会開催は未定。

4. 研究発表会の開催（主担当：学術事業運営委員会）

- ・春季研究発表会

日時：2017年5月21日（日）9:30-12:30

会場：岩手大学復興祈念銀河ホール

実行委員会：上野正章（実行委員長）、船場ひさお、木村直弘、箕浦一哉

- ・秋季研究発表会

日時：2017年12月を予定 詳細未定

5. 広報活動ならびに関連事業（主担当：活動推進委員会）

- ・アーカイブ事業運営委員会と連携をはかり、協会ウェブサイトのコンテンツ充実やFacebook等の活用により基礎的な発信力強化をはかる。
- ・各種メーリングリストの運営
- ・サウンドスケープの社会化に向けて、協会員内外の交流会や研究会を企画・実施する。

6. ワーキング・グループ等への助成と活動の公開（主担当：研究会）

- ・サウンドスケープに関する活動を推進するため、ワーキンググループには3万円程度、震災プロジェクトには5万円程度を上限に助成する。なお、助成するグループの採択や実際の助成額は、予算を勘案しながら常務理事会でおこなう。
- ・ワーキンググループやプロジェクトの活動を会員内外に広く発信するため、ウェブページへの一覧と紹介文の掲載をおこなう。
- ・2017年度は以下の申請があり、助成は常務理事会の審議により採択される。

助成申請のあったグループ名称
1) サウンド・エデュケーション WG
2) サウンドスケープ政策研究会 WG
3) 自然の響きを聴く会 WG
4) 祭りや伝統文化の音風景を考える会 WG
5) まち・音・ひと・ねっと WG

7. 記録整備（主担当：アーカイブ事業運営委員会（本総会にて改称）／活動推進委員会／各実行委員会）

- ・協会活動アーカイブの整備・公開の推進

8. 20周年展コンテンツ書籍化事業（主担当：20周年展コンテンツ社会化プロジェクト（仮称））

- ・20周年展でのコンテンツの書籍化等に向けたプロジェクトを立ち上げ、活動を開始。

9. 協会誌の発行（主担当：協会誌編集委員会、学術事業運営委員会）

- ・年度内1～2回の発行の予定

10. 国内外の団体との連携・交流

- ・協会主催企画や国際委員会等を通じて内外団体との連携・交流を進める。

11. サウンドスケープ研究の推進（主担当：学術事業運営委員会）

- ・サウンドスケープ研究の推進をおこなう共同研究プロジェクトのために会議費等の補助をおこなう。

12. その他

- ・常務理事会は3回程度を予定

[資料7] 2017年度予算案 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	内訳	備考
会費収入	988,000		
一般会員		882,000	147名分×6000円
学生会員		42,000	14名分×3000円
賛助会員		0	
団体会員		24,000	4団体分×6000円
JASE委員会		40,000	20名分×2000円
会費前受け金		0	
事業収入	3,000		
コンテンツ事業	-	0	
企画運営(例会)	-	0	
企画運営(シンポジウム)	-	0	
学術事業		3,000	研究発表会資料代 ※前年度実績
協会誌編集		0	バックナンバー販売 ※前年度実績
国際委員会	-	0	
活動推進	-	0	
ワーキンググループ	-	0	
企画運営	-	0	
雑収入		0	利子 ※前年度実績
今年度収入合計	991,000	991,000	
前年度繰越金	2,224,173		期首残高：郵便口座2,112,996円、銀行口座78,486円、小口現金31,105円、他1,586円
収入合計	3,215,173		

支出の部

科目	予算額	支出額	備考
事業費	850,000		※事業費は前年度より15,000円の増額。
企画運営(シンポジウム)		100,000	講師謝礼、講師交通費、総会アルバイト、ライター・案内版印刷加工費、記録・文字起こし費等シンポジウム開催・記録経費
企画運営(例会)		120,000	会場、謝礼、アルバイト、記録・文字起こし等例会開催・記録経費(60,000円程度×2回想定)
アーカイブ事業：記録・保存・発信		100,000	記録・保存・編集費 ※前年度より30,000円の増額
研究会：WG等への助成		200,000	ワーキング・グループへの補助(30,000×5件)、震災プロジェクト(50,000×1件) ※60,000円増額
協会誌編集		120,000	編集、取材謝礼、デザイン外注費、製本費等
学術事業(研究発表会)		80,000	研究発表会経費(会場費、資料作成費、アルバイト費、記録・文字起こし費)
学術事業(研究推進)		50,000	サウンドスケープ研究の推進をおこなうための共同研究プロジェクトの会議費等の補助
活動推進：推進・広報		30,000	協会活動の推進と情報発信のための経費 ※前年度より90,000円の減額
20周年展コンテンツ社会化		20,000	20周年展コンテンツの書籍化等推進のための経費
国際委員会		30,000	JASE会費(振込手数料込)
管理費	385,000		※管理費は前年度より110,000円の増額。
事務局費		240,000	事務経費(2万円×12か月)
会議費		30,000	常務理事会開催のための会場費等の費用
通信連絡費		60,000	2017年度総会等案内郵送費、理事選挙通信費、返信用通信費、運搬費等(印刷費込)
ウェブサーバ費		30,000	ウェブページサーバー費、ドメイン維持費等
印刷費		10,000	会議資料印刷等(10円×1000面) ※20,000円の減額
雑費		15,000	振込手数料、消耗品等 ※25,000円の減額
2016年度支出合計	1,235,000	1,235,000	
次年度への繰越金額	1,980,173		
支出合計	3,215,173		

[資料8] 会長職の位置づけについて

従来の会長職の位置づけを廃止し、理事長を本会の長とする案（下線部が変更箇所）

現行	案
<p>【規約】役員 第9条 本会は次の役員を置く。<u>・会長（1名）</u>・理事長（1名）・常務理事（8名、理事長を含む）・理事（35名）*理事の人数は左記定員を上限とする。<u>・監事（2名）</u></p>	<p>【規約】役員 第9条 本会は次の役員を置く。<u>・理事長（1名）</u>・常務理事（8名、理事長を含む）・理事（35名）*理事の人数は左記定員を上限とする。<u>・監事（2名）</u></p>

現行	案
<p>【規約】役員を選出 第10条 …<u>会長は常務理事会の推薦に基づき総会の承認により決定する。</u>…</p>	<p>下線部の削除。</p>

現行	案
<p>【規約】役員職務権限 第11条 <u>会長は本会を代表する。</u> <u>2 理事長は常務理事会の議に基づき会務を総理する。</u> 理事長が会務を総理できないときは、理事長が予め定めた常務理事がその職務を代行する。 <u>3 理事は理事会を組織し、第13条4項に掲げる事項について決定する。</u> <u>4 常務理事は常務理事会を組織し、第14条4項に掲げる事項について決定する。</u> <u>5 監事は、協会の財政状況を監査し、常務理事の業務執行の状況を監査する。財産の状況または業務執行に不備を発見したときは総会に報告する。</u></p>	<p>【規約】役員職務権限 第11条 <u>理事長は本会を代表し、常務理事会の議に基づき会務を総理する。</u>理事長が会務を総理できないときは、理事長が予め定めた常務理事がその職務を代行する。 <u>2 理事は理事会を組織し、第13条4項に掲げる事項について決定する。</u> <u>3 常務理事は常務理事会を組織し、第14条4項に掲げる事項について決定する。</u> <u>4 監事は、協会の財政状況を監査し、常務理事の業務執行の状況を監査する。財産の状況または業務執行に不備を発見したときは総会に報告する。</u></p>

[資料9] コンテンツ事業運営委員会の位置づけについて

名称等の変更に伴い、規約および細則を下記のとおり変更する。（下線部が変更箇所）

現行	案
<p>【規約】運営委員会 第16条 <u>コンテンツ事業運営委員会：協会活動の記録、保存、発信を担当する。</u></p>	<p>【規約】運営委員会 第16条 <u>アーカイブ事業運営委員会：協会活動を記録した音響・映像資料等の保存とその活用、協会活動の一環としてのアーカイブ事業等について担当する。</u></p>

現行	案
<p>【細則】第4条 委員会の構成ならびに業務 <u>コンテンツ事業運営委員会：協会活動の記録（書面、印刷物、録音物、写真、動画など）を保存・編纂し、必要に応じてこれらを元にコンテンツを制作する。</u></p>	<p>【細則】第4条 委員会の構成ならびに業務 <u>アーカイブ事業運営委員会：協会活動の記録（録音物、写真、動画など）を保存・編纂し、必要に応じてこれらを元にしたコンテンツ制作や新規のアーカイブ、コンテンツ企画を行う。</u></p>

[資料10] JASE 委員会の位置づけについて

位置づけを変更するため、細則を下記のとおり変更する。（下線部が変更箇所）

現行	案
<p>【細則】第4条 委員会の構成ならびに業務 <u>JASE（Japanese Association for Sound Ecology）委員会：国際音響生態学会議（World Forum for Acoustic Ecology: WFAE）との連携を行う。JASE 委員会の運営については別途 JASE 運営規則を定める。</u></p>	<p>【細則】第4条 委員会の構成ならびに業務 <u>国際委員会：国外への発信や国外団体との交流をはかり、国際音響生態学会議（World Forum for Acoustic Ecology: WFAE）との連携を行う。なお、国際委員会の英語名は JASE（Japanese Association for Sound Ecology）とする。</u></p>

[資料11] 事務局所在地の変更

事務局長の任期満了に伴い、事務局所在地を変更するため、細則を下記のとおり変更する。（下線部が変更箇所）

現行	案
<p>【細則】事務局 第5条 事務局は、<u>東京都渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学教育人間科学部 吉仲研究室</u>におく。</p>	<p>【細則】事務局 第5条 事務局は、<u>神奈川県川崎市高津区久本3-2-1 WELLTOWER 905 鷺野宏デザイン事務所</u>におく。</p>

以上の議案は、2017年5月20日、岩手県公会堂にて開催された日本サウンドスケープ協会第25回通常総会および事前におこなわれた2016年度常務理事会・理事会にて審議され成立しました。文面は承認された修正後のものです。